

## 市民団体アンケート調査結果

### 1 目的

小平市内で環境に関する活動を実施している団体の環境に関する取組や意見を把握し、(仮称)小平市第三次環境基本計画策定の基礎資料として活用する。

### 2 仕様

- (1) 調査期間 令和元年 10 月 8 日 (火) ~11 月 20 日 (水)
- (2) 調査対象 市内で環境に関する活動をしている市民団体
- (3) 対象数 21 団体
- (4) 調査方法 アンケート調査用紙に記入後、回収
- (5) 集計・分析 環境政策課

### 3 項目

- (1) 貴団体の活動について
- (2) 活動していく上での課題などについて
- (3) 貴団体の活動への市民等の参加と他団体との連携について
- (4) 小平市の環境に対する取組について

### 4 留意点

n は、質問に対する回答者数で 100 %が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

### 5 回答結果

18 団体 (回答率 : 85.71%)

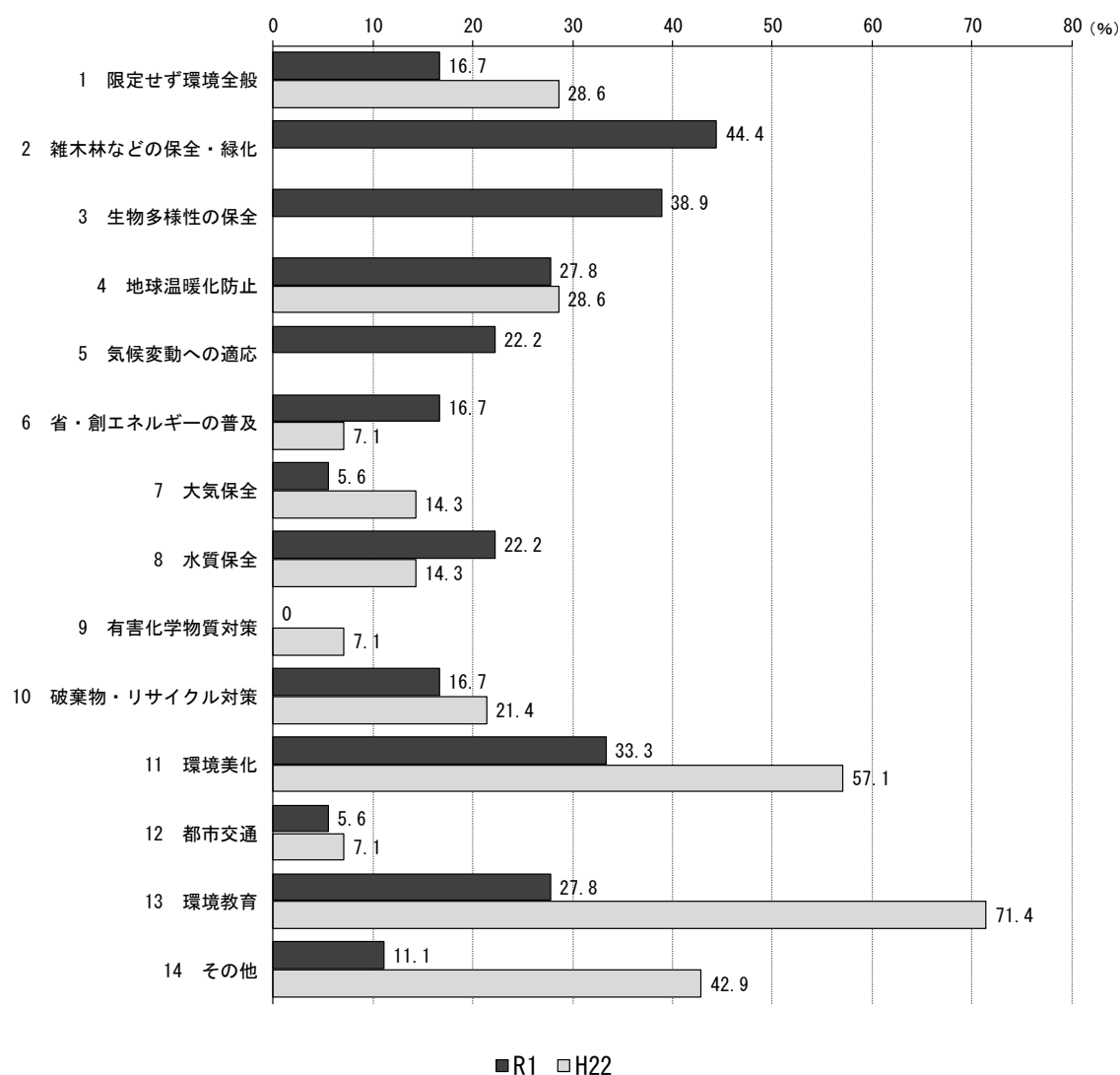
## 6 集計結果

### (1) 貴団体の活動について

#### ①活動の分野 (n=18)

問1 環境に関する主たる活動分野は何ですか。あてはまるものすべての番号を○で囲んでください。

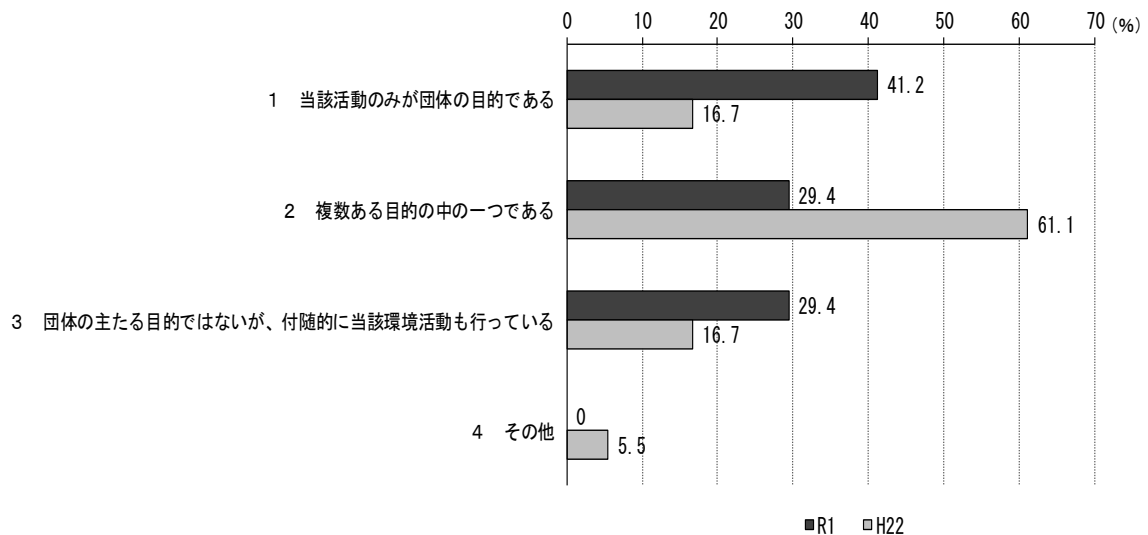
主たる活動分野として、「雑木林などの保全・緑化」が44.4%となり、次いで「生物多様性の保全」が38.9%、「環境美化」33.3%と続いている。前回調査と比較して、「省・創エネルギーの普及」及び「水質保全」が増加したが、それ以外の項目は減少している。その他の項目としては、「自生野草を守り育てる」、「鳴く虫の保護・保存」が挙げられている。



②活動の位置づけ (n=17)

問2 活動において、環境活動はどのような位置づけとなっていますか。あてはまる番号を、1つだけ選んで○で囲んでください。

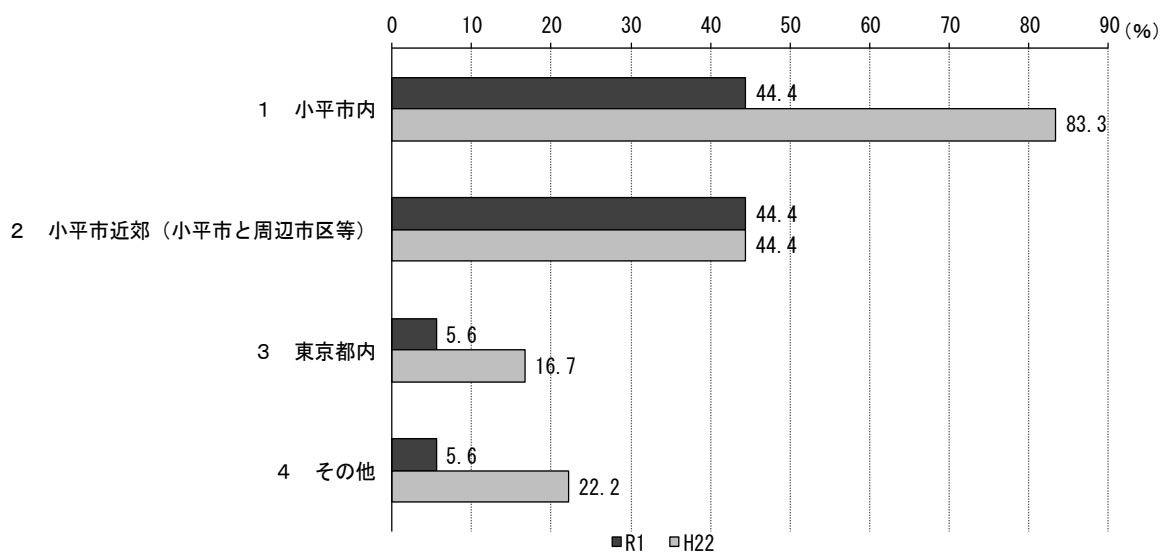
「当該活動のみが団体の目的である」が41.2%と最も高い。前回調査と比較すると「複数ある目的の中の一つである」という団体が減少している。



③活動の範囲 (n=18)

問3 環境活動に関する主たる活動範囲はどこですか。あてはまるもの1つだけ番号を○で囲んでください。

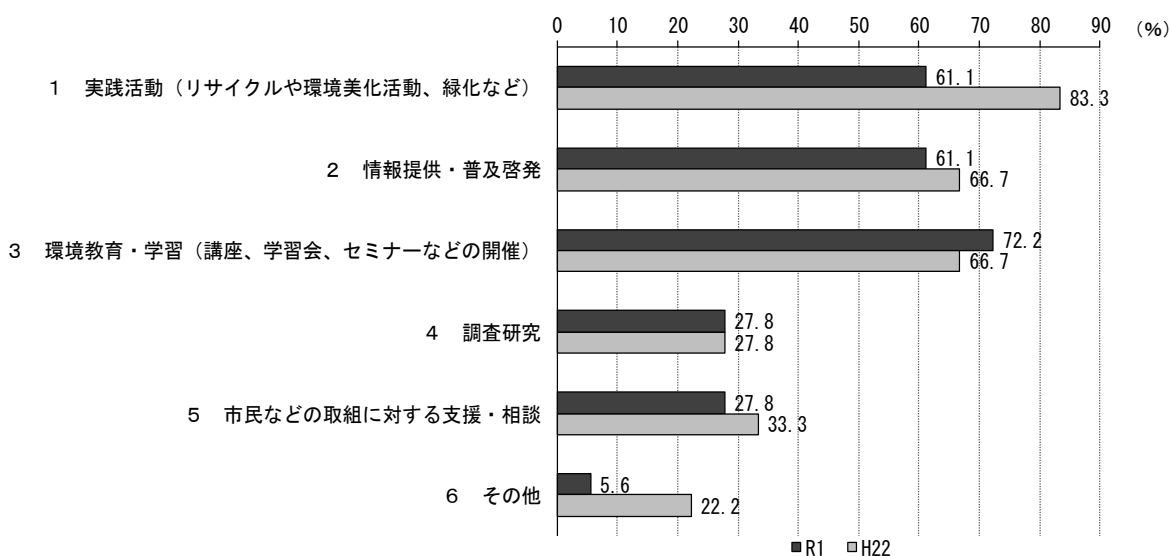
団体の主な活動範囲としては、「小平市内」と「小平市近郊（小平市と周辺地区等）」を合わせると約90%となっている。その他としては、「全国、海外など」が挙げられている。



#### ④活動の内容 (n=18)

問4 環境活動に関する活動は、どのように実施していますか。あてはまるものすべての番号を○で囲んでください。

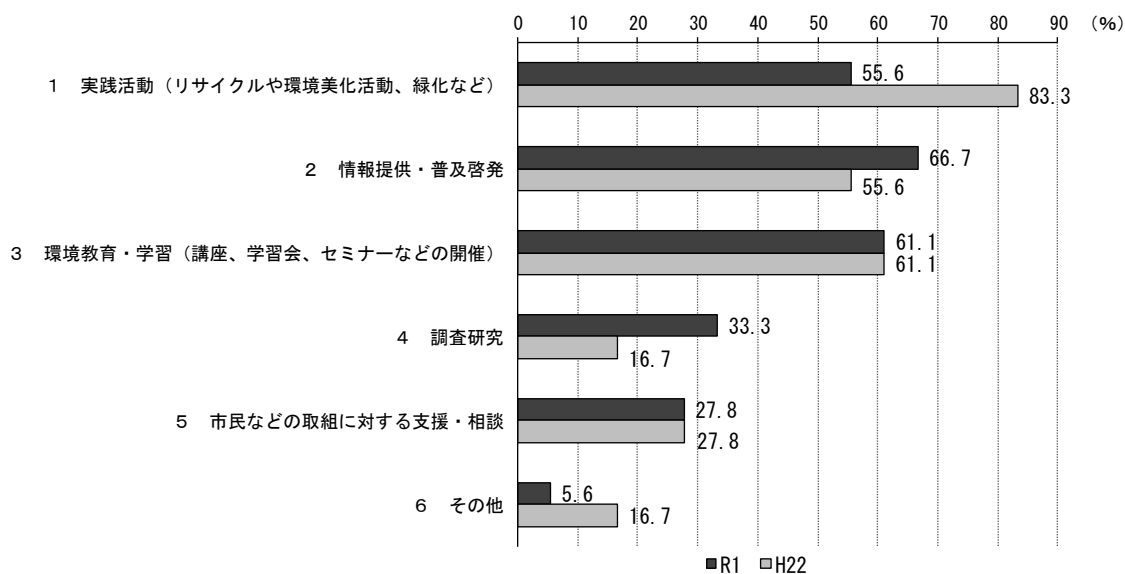
「環境教育・学習（講座、学習会、セミナーなどの開催）」が72.2%、次いで、「実践活動（リサイクルや環境美化活動、緑化など）」及び「情報提供・普及啓発」が61.1%となっている。前回調査と比較すると、「環境教育・学習（講座、学習会、セミナーなどの開催）」は増加したが、それ以外の項目は変わらないか、減少している。



#### ⑤将来的な活動内容 (n=18)

問5 将来的には何を、主たる活動形態（実施手段）としたいですか。あてはまるものすべての番号を○で囲んでください。

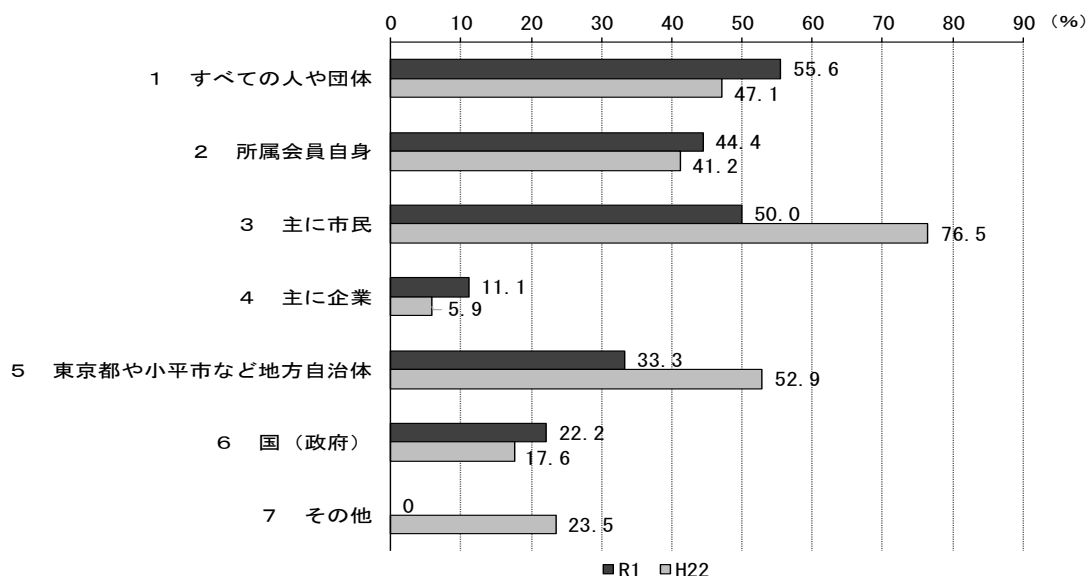
「情報提供・普及啓発」が66.7%、次いで、「環境教育・学習（講座、学習会、セミナーなどの開催）」が61.1%、「実践活動（リサイクルや環境美化活動、緑化など）」が55.6%となっている。前回調査と比較すると、「情報提供・普及啓発」、「調査研究」が増加し、「実践活動（リサイクルや環境美化活動、緑化など）」が減少している。



⑥活動の対象 (n=18)

問6 環境活動は、主に誰の意識・行動を変えるためのものですか。あてはまるものすべての番号を○で囲んでください。

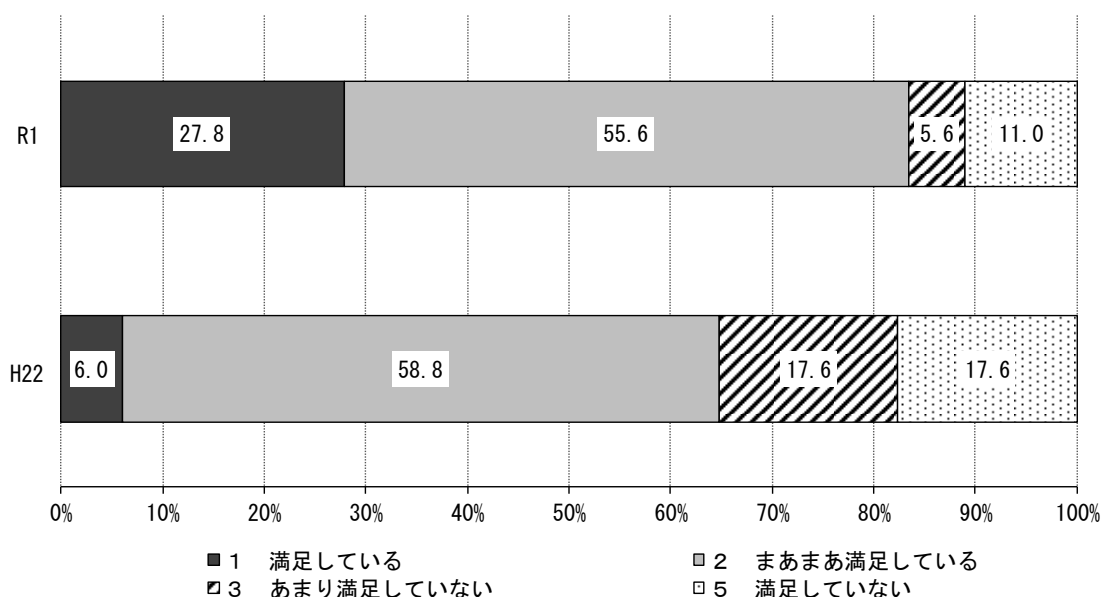
「すべての人や団体」が55.6%、次いで「主に市民」が50%、「所属会員自身」が44.4%と続いている。前回調査と比較すると、「主に市民」、「東京都や小平市など地方自治体」が減少している。



⑦活動の満足度 (n=18)

問7 現在の活動に満足していますか。あてはまる番号を、1つだけ選んで○で囲んでください。

「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせると83.4%となり、前回調査と比較すると、「満足している」が大幅に増加している。



⑧活動の満足度について、その理由

問8 問7でお答えいただいた理由をお書きください。

問7で「満足している」、「まあまあ満足している」とお答えいただいた団体の理由

会員の高齢化によるエネルギーの不足が顕著であるが、出来る範囲でまずまずの活動をしている。
ボランティアの数が少ない。
イエローチョーク作戦で、もっと知っていただくために周知してもらいたい。
自身の時間と予算の許す、可能な範囲で活動している。
この会は緑と花を育てることにより、私たちの心や生活に潤いを与える喜びと楽しみを分かちあい、小平をいつも緑と花の咲いている美しい街にして、明るい社会を気付くことを目的としている。
里山整備、公園整備、市のフェスタを通して自分たちの活動ができていると思う。高齢化が問題となっている。
計画した活動はほぼ出来ているが、国、企業、市の意識は低く、自分たちの微力を痛感する。
趣味の会としては、稀少な50年を越える歴史と実績がある。
全会員が情報収集を理解し、自ら考え、活動をしていること、常に実践第一で行動し協力している。
活動に参加された方を（主に小平市民）の満足度やシルバー大学、公民館企画事業の主催者の皆さんの満足度には自信をもっていますが、新たな活動家の加入がなく残念な思いです（市民が当事者になろうとしない）。
まだ、多くの市民に啓発活動ができていないと思うから。
太陽光発電市民共同発電所を設置することを目的として設立したが、設立以来7年で7機、合わせて100kWの発電所を設置することができた。すべての市民出資、すべての事業者市民の連携による屋根借り、すべての電気を新電力に売電し、それをもって市民に供給することが叶っている。
用水路の様々な情報を形にしてきた。

問7で「あまり満足していない」、「満足していない」とお答えいただいた団体の理由

現在は、東京都を中心に活動しており、広域なので、活動が停滞しております。今後、会員メンバーに小平市民の参加を積極的に働きかけ、セミナー等も小平市内で行う方向で考えています（現在は、学習会、セミナー等は都内のボランティアセンター等で行っています）。
会員が高齢化して、若い人の参加が少ない。
主体的に参加できるメンバーの減少と高齢化で、会の活動が停滞しているため。

⑨貴団体において取り組むことができる（できそうな）活動

問9 小平市のより良い環境づくりにあたり、貴団体において取り組むことができる（できそうな）活動がございましたらお聞かせください。

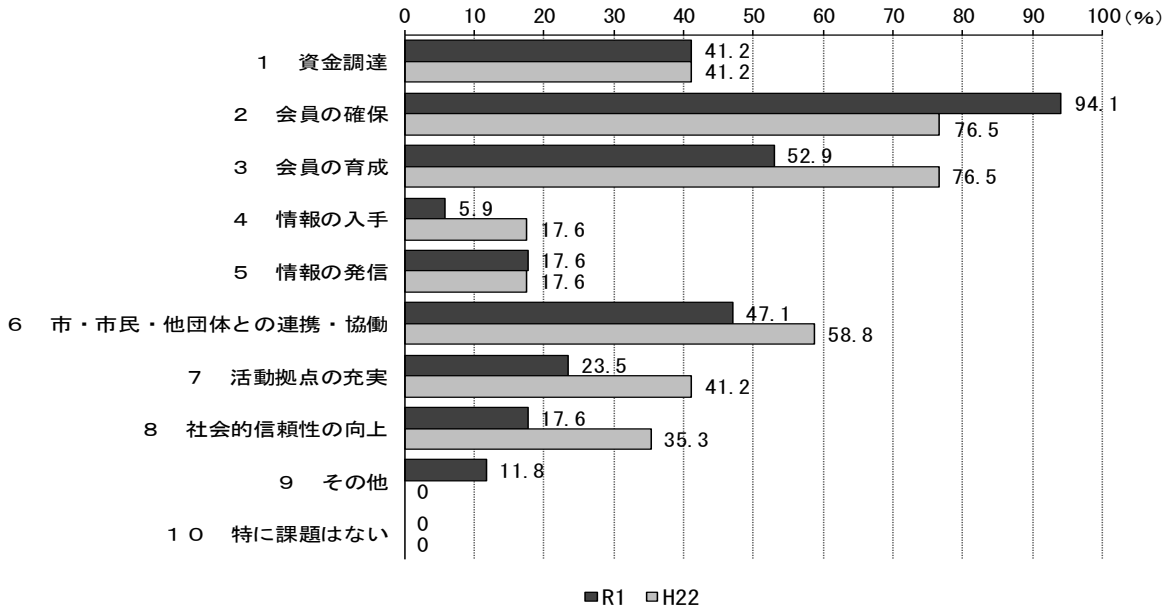
<p>現在、事業内容の見直しをしており、今後活動の方向性が決まり次第ご相談にお伺いしたいと考えております。</p>
<p>現在はイエローチョーク作戦ですが、この活動を継続していく事だけです。</p>
<p>自然のサイクルをベースにした植物の保全、育成。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こだいらグリーンフェスティバルへの参加</li> <li>・ 小平市民まつりへの参加＝みどりを育てる活動や奉仕活動に参加</li> <li>・ 小鳥の来るまちづくりの推進</li> <li>・ みんなでまちをきれいにする週間事業への参加</li> </ul>
<p>公園アダプト制度の指定団体として、すでに中央公園にて活動している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生ごみ、落ち葉の活用</li> <li>・ 市民への情報提供、学習会開催など</li> </ul>
<p>鳴く虫の生息環境保全の為、稀少な生息場所を確認、共有し河川敷の工事や土手の草刈り等に一定の配慮が加えられるよう努める。</p>
<p>問5（主たる活動形態「実践活動（リサイクルや環境美化活動、緑化など）」、「情報提供・普及啓発」、「環境教育・学習（講座、学習会、セミナーなどの開催）」、「調査研究」、「市民などの取組に対する支援・相談」）に関する事でしたら対応可能です。</p>
<p>小平市の緑化推進の援助。</p>
<p>玉川上水、小平用水網の住民たちとの関わりの歴史の学習と保存・活用の啓発講座の開催。現在も行っている現地調査へのお誘いなど。</p>
<p>少なくとも、現状の啓発活動を続け一人でも多く市民に啓発すること。</p>
<p>市が掲げている太陽光発電日本一をめざす取組に少しでも寄与したい。固定価格買取制度が、縮小、後退するなか、地域の再エネの拡大が止まらないよう、一層の普及・啓発に取り組みたい。市役所及び公共施設が率先して再エネで運営されるように働きかけたい。</p>
<p>自転車スイスイでは、CO<sub>2</sub>の排出がなく、地球環境にも優しく健康的な手段としての自転車が利用しやすいまちを展望し、長年活動を続けています。車中心ではなく歩行者や自転車が優先のまちづくりをすすめるよう、今後も行政へ働きかけや市民への啓発活動などを地道に行っていきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校での出前授業</li> <li>・ 用水路の生き物プレートの設置</li> </ul>

(2) 活動していく上での課題などについて

①活動を充実していく上での課題

問10 今後、活動を充実していく上で、何が課題となっていますか。あてはまるものすべての番号を○で囲んでください。

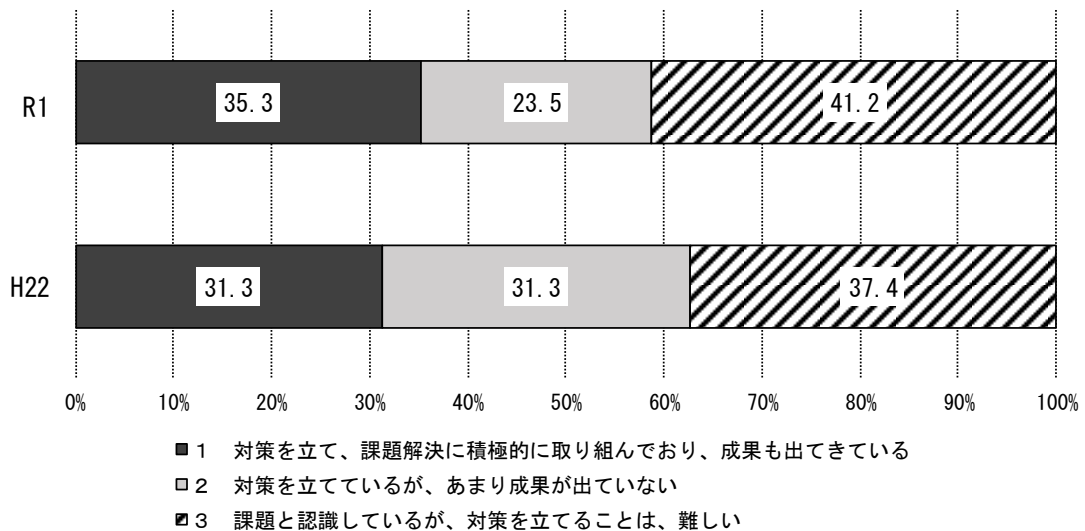
「会員の確保」が94.1%と非常に高く、次いで「会員の育成」が52.9%、「市・市民・他団体との連携・協働」47.1%と続いている。前回調査と比較すると、「会員の確保」だけが増加している。その他の課題として、「事務局の体制」、「法・制度の壁」が挙げられている。



②課題解決に向けた具体的な取組 (n=17)

問11 「問10」で挙げた課題に対して、解決に向けた具体的な取組を行っていますか。あてはまる番号を、1つだけ選んで○で囲んでください。

前回調査と比較すると、「対策を立て、課題解決に積極的に取り組んでおり、成果も出てきている」及び「課題と認識しているが、対策を立てることは難しい」が増加している。「対策を立てているが、あまり成果が出てこない」が減少している。





### ③課題解決に向けての対策

問12 「問11」で「1. 対策を立て、課題解決に積極的に取り組んでおり、成果も出てきている」と回答した方にお伺いします。問10で挙げた課題に対し、どのような対策を行いましたか。具体的にお書きください。

- ・ボランティア説明会の開催
- ・活動場所にボランティア募集のチラシを掲示

行政、企業との協力体制と実施、課題の達成に成果があった。小平市、保存樹林の保全活動及び再生活動を実践し荒廃した樹林の生物多様性を各関係機関と協力し、推進できた。

「東京のみどりを守ろう」セブンイレブンと東京都（上水新町地区の雑木林等）、「緑地保全と創生」東京都緑化推進委員会及び小平市水と緑と公園課の協力を得て、小平市特別緑地を中心に活動を行った。小平市水と緑と公園課及び小平警察署の協力で希少生物種の保護活動を実践したなど。

- ・資金調達…「補助金」を提供してもらえる企業、団体、公共団体の募集への応募
- ・会員確保…成果はわずかだが、市や公民館が主催する交流会に参加し、来場者との対話をとおして、会員加入を行っており、昨年は3名が加入
- ・連携協働…市・公民館との協働はできている。私が欲しているのは青年層確保につながる大学との連携ができていない

同じ目的をもって活動する団体のネットワーク組織をつくり、情報交換やノウハウを学ぶセミナー、先駆事例の見学などを行っている。電力自由化が再エネ推進の後押しになるよう、FIT制度の改定や電力取引の公正化や電力新市場の創設などについて、また脱原発と気候変動回避を達成するためのエネルギー基本計画やエネルギーミックス、温室効果ガス削減計画など策定・改定について、提言活動を行っている。

### ④課題解決が進まない原因

問13 「問11」で「2. 対策を立てているが、あまり成果が出ていない」「3. 課題と認識しているが、対策を立てることは、難しい」と回答した方にお伺いします。課題の解決が進まない主な原因は何だと思えますか。ご自由にお書きください。

(公社)東京のあすを創る協会とその下部組織である小平生活会議連絡協議会での活動に注力している。

団体の活動以外に仕事が忙しいのとNPOの資金不足

小平市より補助金を頂いている。また事務局も環境部の水と緑と公園課

募集しても応募者が高齢であったり、会の趣旨を理解していなかったりして、望む人材が確保できなかった

- ・行政との考え方の違い
- ・市民の関心の低さ

会員の高齢化と若年層の加入難（現役で多忙、虫への関心・興味が薄い）

・会員の老齢化と若い人が、核家族化し、仕事に忙しく、余暇活動に参加している余裕がなくなってきた。

市民の興味、関心を感化する手段に欠けること。地球温暖化による気候変動は、個人からすると、余りにスケールが大きく自分のこととして想像することが難しい。

また、酸素やCO<sub>2</sub>は「公共財」として性質があり、個人の利益若しくは利害が絡まないため、コントロールが難しい。（価格による市場メカニズムが働かない。）近道としての解決策は、規制を掛けることだが、現代の社会においては、無理な話。

会が設立から17年経ち、主体的に活動してきた会員の高齢化で会の運営そのものがなかなか厳しくなっているため。

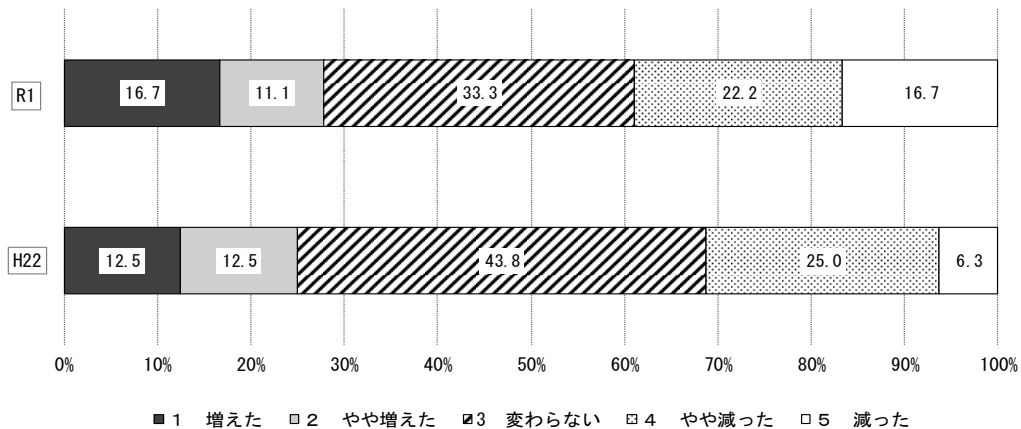
多分活動が地味なのだと思いますが、案外理解とヤル気のある会員がいれば、続けられるものです。

(3) 貴団体の活動への市民等の参加と他団体との連携

①活動に対する市民参加 (n=18)

問14 活動に対する市民の参加は、10年前（設立して10年未満の団体は設立当初）と比べてどう変化していますか。あてはまる番号を、1つだけ選んで○で囲んでください。

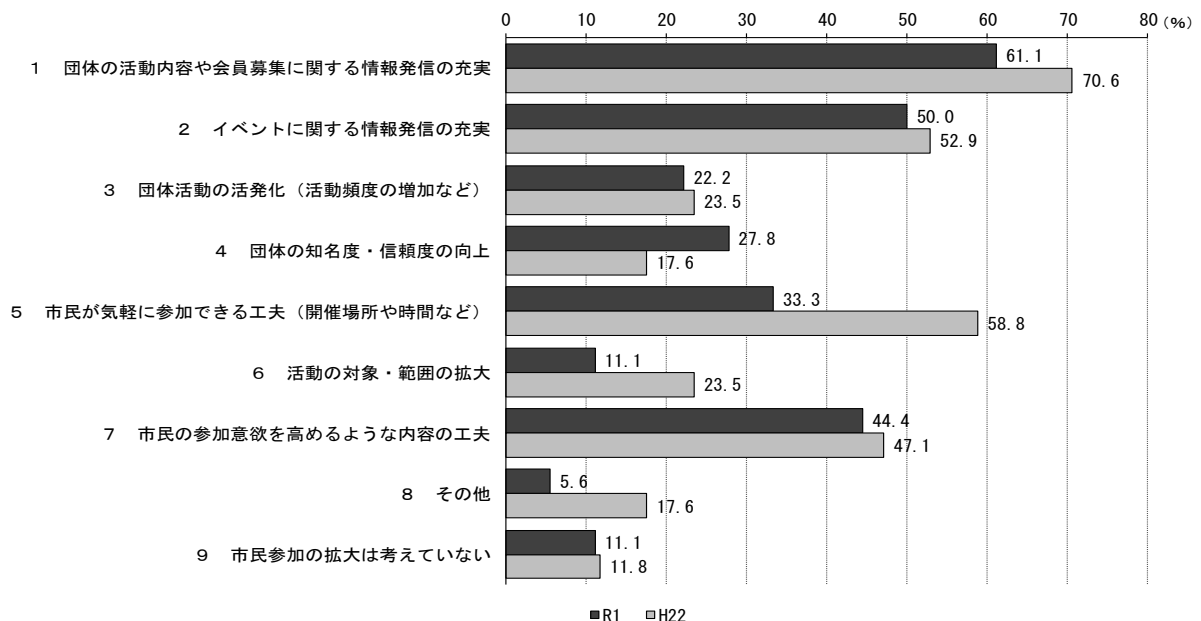
市民参加が「増えた」、「やや増えた」、を合わせると27.8%となり、前回調査より増加している一方で、「やや減った」、「減った」を合わせると38.9%となり、こちらも前回調査より増加している。



②市民参加の拡大をするために

問15 今後、市民参加の拡大を図る場合、貴団体においては、特にどのようなことが重要になると考えますか。あてはまるものすべての番号を○で囲んでください。

「団体の活動内容や会員募集に関する情報発信の充実」が61.1%、次いで「イベントに関する情報発信の充実」が50%、「市民の参加意欲を高めるような内容の工夫」が44.4%となっている。前回調査と比較すると、「団体の知名度・信頼度向上」が増加したが、それ以外の項目は減少している。



③効果的な市民団体と市民、市の連携

問16 小平市のより良い環境づくりを推進するために、市民団体と市民、市の連携をどのようにすると効果的だと思いますか。

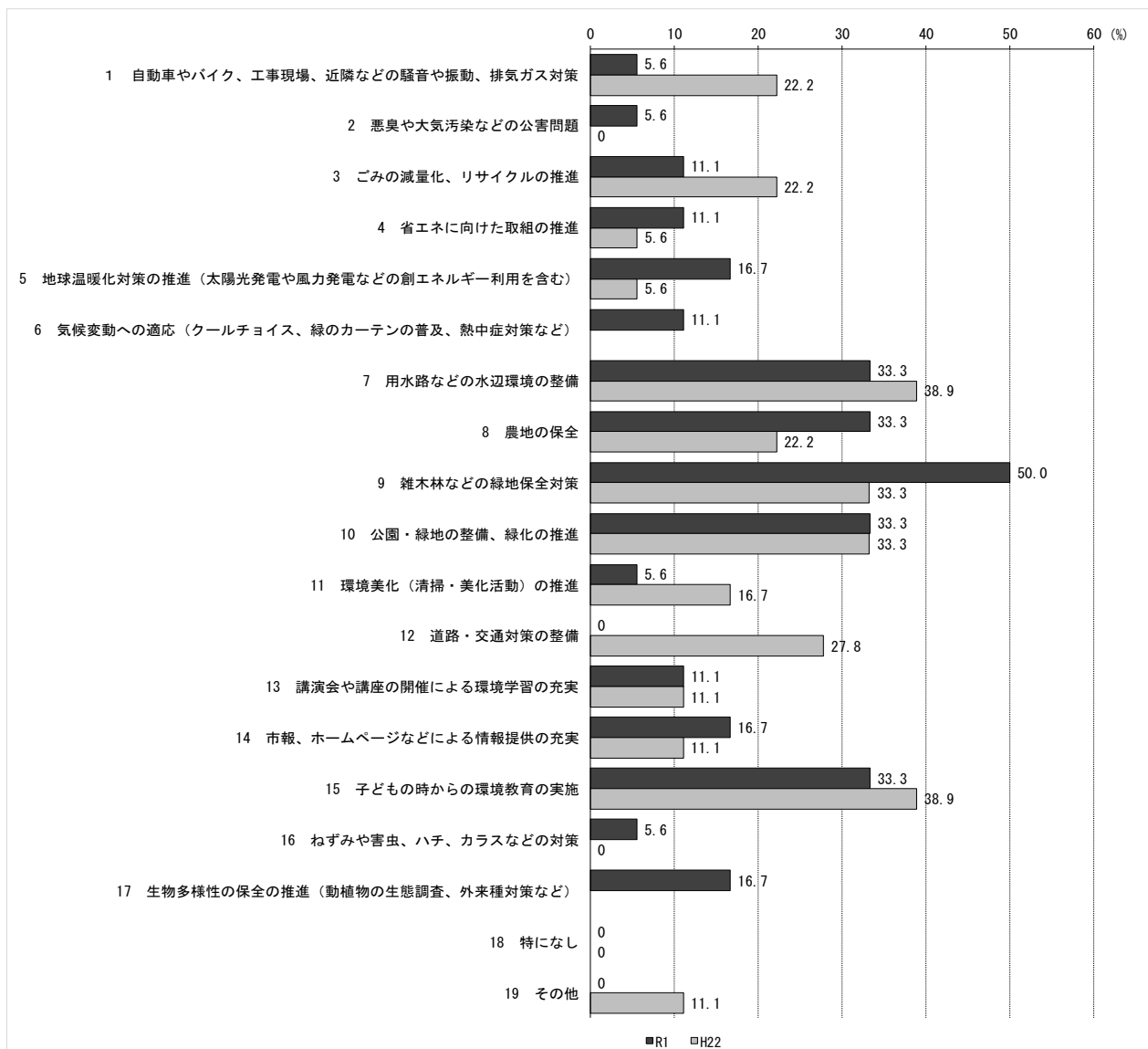
市報くだいらに新たに団体と市民及び市との連携のページを作ると良いと思う。(又は折込みで1ページ増す等)
お互い協働で活動を進めていく事、環境政策課の業務を軽減する為に、たとえば、ペットの登録制度を当協会にやってもらうなどしてはどうか。
より良い環境の定義づくりからはじめる。環境・自然・美しさ及び安全性及び玉川上水他用水等の基本を考慮した内容に
市報を活用し、特集号等の発信が効果的と思う。
活動内容や人材募集などを市報に掲載するのは効果的に思う。
市は何かを決める前に、市民団体や市民の声を真摯に聞いてほしい。
行政が中心ではなく、市民の行動と実践が必要かと思われる。町づくり(環境)は市民の手で作出すことを目的の達成とするために、推進していく事が必要と考えます。
現在は、ひとつの市民団体として活動。市民の将来にわたる貢献活動であっても単なる趣味の活動と受けとめられる。 具体的な案:市が主体的に「緑保全」がもたらす生活環境の向上などを具体的に明示し、目標化しスケジュール化して市民の参加をうながすことで、市民団体が結束して取り組める。(予算の確保)学生たちも研究活動として、参加しやすくなる。これらの活動をとおして連携できる環境がうまれる。
市を頂点として、様々な市民生活(活動)の組織(団体)を作り、出来るだけの市民をそのうちどれかに帰属させ、情報や啓発活動等の実働的なネットワークが作れたら効果的だと思います。その場合極力少なくして、伝達ミスを少なくするか迂回ルートをつくるようにすると良いと思います。
市民協働事業の見直しにより、市との連携は後退していると感じている。市からのお題に添っての活動に留まっていたら、市民の力を活かすことは限定的になる。イベントや時宜的な事業だけでなく、継続した事業で協働していきたい。
玉川上水のよりよい環境づくりと保全については、都、小平市、玉川上水を守るための活動をしている市民団体、近隣住民が同じテーブルについて協議する場を持っていると聞いています。この例はいろいろな場面で参考になると思います。例えば市の観光資源としての財産である狭山境緑道の樹木の保全やより利用しやすくするための環境整備のため、都と市と沿道の店舗や近隣の住民が定期的集まり、協議する場を持つといったことが考えられると思います。
今の所、あまり連携が取れていません。こちらからも働きかける必要があります。

(4) 小平市の環境に対する取組について

①市が優先的に取り組まなければならない課題

問17 市が環境をより良くするために、優先的に取り組まなければならない課題を3つ選んで○で囲んでください。

「雑木林などの緑地保全対策」が50.0%、次いで「用水路などの水辺環境の整備」、「農地の保全」、「公園・緑地の整備、緑化の推進」、「子どもの時からの環境教育」が33.3%となっている。前回調査と比較して、「道路・交通対策の整備」が27.8%から0%に下がっている。



②ご要望や貴団体の考え

問18 小平市の環境行政に関して、ご要望や、貴団体のお考えをご自由にお聞かせください。

※小平市初の環境政策を全国に発信してほしい。（小平の遊歩道の活用は必ず経済効果大につながる）（各種団体（NPO等）と市との今以上の連携の強化により全国No.1の環境都市造りを目指す）

<p>これからも小平市の為に頑張ってください。私たちががんばります。ファイト！！</p>
<p>「環境」というテーマが広すぎるので、まとまりません。それぞれの項目、分野に分けて、環境対策を検討して、具体策を検討していく必要があると思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小平の風致地区の保全、税制の配慮</li> <li>・各駅前緑化の推進（花壇の設置等）</li> <li>・市内大型事業者への緑化の推進</li> </ul>
<p>ボランティア活動する上で、シルバー人材などとの活動の調整をお願いしたい。</p>
<p>「ホテルの夕べ」「鳴く虫コンクール」等、これまでも増して会場のご提供、市長様のご臨席へのご配慮や緊密な連携をお願い申し上げます。</p>
<p>小林市長による「市長宣言」で公表することが重要と思います。市の本気度を示すには市長のリーダーシップが必須です。</p>
<p>市が取り組んできた環境家計簿は画期的な取組と期待してきたが、データを市民が共有できなくなっていることは残念。</p> <p>固定価格買取制度の後退により、再エネ拡大が止まることのないよう、市独自の補助策を充実させてほしい。地産地消の電力供給を行うためには、地域新電力の創設が鍵。すでに多くの自治体で取り組まれている。まずは、公共施設の電気を、再エネ 100%に率先して切り替え、CO2削減をめざすべき。</p> <p>生産緑地指定解除によって失われかねない農地の保全を、ソーラーシェアリングへの取り組みなど、攻めの施策によってすすめるべき。</p> <p>市民の活動情報を提供する手段は限られており、市民団体は情報宣伝に苦戦している。市報やまちの掲示板など、公共財をもっと活用できるようにしてほしい。</p>
<p>小平は、都心から近い距離にあります。農地や雑木林が点在し、玉川上水やグリーンロードもあり緑が多い環境が気に入ってます。こうした緑豊かな住環境を将来まで残せるようなしくみをつくっていただきたいと思います。また他市に先駆けて公共施設への太陽光パネルの設置をすすめてきましたが、今後も地球温暖化や自然エネルギーの利用を高めるような取り組みを積極的におこなっていただきたいです。</p> <p>会としては、歩行者や自転車が利用しやすい道路整備が必要と考えます。今後ますます高齢者の増加が予想される中で、交通環境は優先課題です。歩きやすい道路整備や公共交通の整備などすすめていただきたいと思います。</p> <p>環境分野は幅広く、さまざまな部署の連携が欠かせないと思います。よりよい環境をつくっていくためには、わたしたち市民も協力できることは一緒にすすめていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>小平市を流れる用水路は細かいですが、これは小平市の歴史そのものであり、多摩川の自然水が流れており、用水路の中は生物多様性に満ちています。また、緑も豊富で、この「水と緑」を小平の特徴とすると良いでしょう。</p> <p>ゴミの戸別収集が始まり、玉川上水沿道へのゴミ出しがなくなったことは、良いことですが、まだ不法投棄はあります。</p>
<p>水と緑と公園課と、環境政策課の違いがわかりにくいです。生物多様性地域戦略に貢献できると思いますが、どちらの課で話をして良いのかわかりません。</p>